



耐候性評価センター(4)

国内屈指の耐候性評価センターとして、多種の耐候性試験や腐食解析を受託しております。評価対象は、材料のみならず、部品、さらに大型重量物の製品にも対応しております。従来より高温での試験が可能な設備も導入しております。

ガス腐食試験

近年、大気中微量ガスによる電子部品・機器の腐食が問題となっています。当社では、ppb～ppmオーダーの微量腐食性ガス(SO₂、H₂S、NO₂、Cl₂、O₃)による腐食をシミュレート、促進することが可能です。また、従来の40℃より高温の80℃での試験も可能です。

- 腐食性ガスとして、SO₂、H₂S、NO₂、Cl₂、O₃が可能です。
- 実環境の腐食現象をより良く再現すると言われているppbオーダーの低濃度混合ガス(2～4種)腐食試験が可能です(JIS H 8502)。
- JISなど様々なガス試験規格(ISO、IEC、JIS、JEITA、EIA、Battelle、ASTMなど)に準拠した試験が可能です。
- 車載電子部品、LED部品、EVバッテリー、太陽電池モジュールなど、高温環境で使用される製品の耐久性評価のニーズが生じています。

従来より高温の80℃において4種のガス(H₂S、SO₂、NO₂、Cl₂)のppbオーダーの単独、混合ガス腐食試験や通電しながらの試験も可能です。



ガス腐食試験機

恒温恒湿耐久性試験

電子機器や通信機器、太陽電池の耐久性試験を承ります。また、めっき鋼板や鉄筋、非鉄金属などが大気環境、湿潤な環境に置かれた場合の耐久性試験を実施いたします。

- 恒温恒湿試験、サーマルサイクル試験など
- 太陽電池パネルのダンプヒート試験(DH試験:85℃-85%RH)
- めっき鋼板、鉄筋、非鉄金属などの耐久性試験を実施する場合、温度・湿度のコントロールにより、金属表面に目に見えない微小な水膜が張ると、電気化学的腐食作用が起こり、腐食速度が高くなる傾向があります。使用環境を模擬し、耐食性評価を実施することができます。



-45～150℃可能な
ハイパワー恒温恒湿試験機
(1.1×1×1m、
200kgサンプルまで試験可能)

家電製品塩害試験(ACTE®試験)

ACTE®とは、当社がご提案する促進腐食試験であり、特に電気製品の実環境での腐食について高い再現性が得られます。

● ACTE®試験の特徴

人工海水を使用してその噴霧量を使用環境に合わせた適正な量とし、さらに実環境で生じている絶対湿度一定の条件で乾湿を繰り返す試験です。複合サイクル試験(JIS H 8502)などに比べてマイルドな環境下での試験であり、実環境をよく再現した促進試験です。

